

2021年3月10日

各位

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1  
オンコセラピー・サイエンス株式会社  
代表取締役社長 朴 在賢  
(コード番号 4564 東証マザーズ)  
(問い合わせ先) 管理本部長 木村 謙二  
電話番号 044-820-8251

OTS167 および FLT3 阻害剤の急性骨髄性白血病に及ぼす相乗効果に関する  
非臨床論文公表のお知らせ

この度、当社の MELK (Maternal Embryonic Leucine-zipper Kinase) 阻害剤 OTS167 と FLT3 (Fms-like tyrosine kinase 3) 阻害剤併用時の急性骨髄性白血病 (AML) に及ぼす相乗効果に関し、シカゴ大学の Stock 教授らのグループによる論文が公表されましたので、お知らせいたします。

*FLT3* 遺伝子の内縦列重複 (internal tandem duplication, FLT3-ITD) 変異は AML 患者で頻繁に認められる遺伝子変異です。本論文では、*FLT3* 変異陽性 AML に対する OTS167 単剤の効果と FLT3 チロシンキナーゼ阻害剤併用時の効果について検討し、*FLT3* 変異細胞株を用いた細胞試験で併用による *FLT3* 変異株細胞死誘導の相乗効果が認められました。また、*FLT3* 変異株移植 AML マウスモデルの試験でも、OTS167 と FLT3 阻害剤ギルテリチニブの併用により全生存期間の延長が確認されました。

これらの結果は MELK を介したシグナル伝達が FLT3-ITD の発現に必須であり、MELK 阻害剤 OTS167 による *FLT3* 変異陽性 AML 患者治療の可能性を示唆するものです。

本論文は、Blood Cancer Journal誌にオンラインで公表されております。

<https://www.nature.com/articles/s41408-021-00433-3>

(上記リンクでアクセスできない場合は直接 URL を入力してください)

以上